◆TEKU･TEKU 2018★東京150年特別展＋小金井ミニ企画（活動記録）◆

企　画■東京１５０年特別展を見て、小金井市民オケを聴く ～小金井公園・駅前再開発ほか～
日　時■２０１８年１１月２３日（金・祝）１０：００～１６：００
コース■ＪＲ武蔵小金井駅―（バス）―小金井公園・江戸東京たてもの園／東京 150 年特別展「都市とたてもの、ひと」～たてもの園内＜昼食＞―（バス）―武蔵小金井駅南口再開発事業＋宮地楽器ホール／小金井市民オーケストラ第 35 回ファミリーコンサート
参加者■◎大竹　亮、重永真理子、古里　実（以上３名、◎コーディネイター、敬称略）
企画主旨■東京150年を記念して、江戸東京博物館の「東京150年特別展」（8/7-10/8）と関連し、小金井公園の江戸東京たてもの園で「都市とたてもの、ひと」展（7/24-1/20）を開催中です。また、当日は武蔵小金井駅南口再開発地区内の宮地楽器ホールで小金井市民オーケストラのコンサートが開催されます。秋の終わりの一日を、小金井という緑豊かな郊外住宅地に足を運び、小金井公園の建築散歩と展覧会、そしてクラシック音楽の演奏会で過ごすという、大人の休日を楽しんでみましょう。

＜参加者の意見・評価＞

１◆小金井公園・江戸東京たてもの園　　評価●3. 67　内訳●ABB

評価Ａ●広大な小金井公園は、かつての近郊緑地帯構想を眼前に彷彿とさせる（実現していたらさぞ素晴らしかっただろうと実感させる）。たてもの園は単に移築展示するだけでなく、商店の並びや路地の様子など市街地の雰囲気を出している。商家の酒場や銭湯ギャラリーなどもあり、街として楽しむことができる。

評価Ｂ●都市緑地としてのまとまりもあり、散策できるコースも変化に富んでいる。その中に江戸東京たてもの園がうまく溶け込んでいて自然な配置となっている。

評価Ｂ●リピーターになりました。建築関係でない人とも来たことがありますが、建築を楽しめます。建築や空間の魅力を引き出して、まだまだ「のびしろ」を感じるのでＢ評価。

２◆江戸東京たてもの園／東京150年特別展「都市とたてもの、ひと」　　評価●5. 00　内訳●AAA

評価Ａ●150年の歴史がきっちりコンパクトにまとめられている。その時々の技術、デザインに寄り添った展示のし方に、純粋に「建築が面白い」というメッセージを感じ、好感が持てた。

評価Ａ●近代建築史をコンパクトにわかりやすく、深く学べる。併せて前川邸など特別展の代表的な建築を現地で見学し体感できるのも良い。

評価Ａ●たてもの園資料館での小規模な展示だったが、150年の時代区分ごとにどのような建築が出現して発展したかの歴史の潮流が良く理解できる。建築計画は、各時代の社会の要請に機能的に応えるだけでなく、創造的な解決案を提示することによって文化を形成していったことが実感できた。

小金井公園・江戸東京たてもの園／正面入口

江戸東京たてもの園／町並みゾーンの路地

３◆武蔵小金井駅南口再開発＋宮地楽器ホール　　評価●3. 67　内訳●ABB

評価Ａ●駅前に文化ホールを配し、建物に囲まれた市民広場を設けるなど、非常に高水準の計画となっている。ホールは中規模だが分節された空間の一体感があり、木を生かした内装でとても居心地が良い。

評価Ｂ●ホールはヒューマンなつくりで好感が持てる。駅前に市民オーケストラが聴けるホールがあることがうらやましく感じる。駅前交通広場とは別にシンボルツリーを残した広場を生み出している点も良い。

評価Ｂ●交通広場とは別の市民広場、ホール、建物の外周のデッキ、シンボルツリーなど、質の良い快適な空間をつくりだしていると思います。11月初めに訪れた時には市民文化祭で賑わっており、市民の文化活動が支えていることもよくわかりました。

４◆小金井市民オーケストラのコンサートを聴いて

●幅広い年代の市民の方が質の高いオーケストラ活動を長年続けられている点に敬意を表します。演奏されている方も聴衆もともに幸せ感あふれるコンサートだったと思います。

●生の演奏を聴くのは本当に久しぶりで、音の膨らみや聴こえ方が「テレビなどとこんなにも違う」と改めて驚き。ホールの必要性、そして足を運び、生演奏を聴くことの豊かさを実感しました。

●こうした市民オーケストラが存在し継続してコンサートを開催していることは素晴らしい。仲間の演奏を生で聴くのも（少し心配になるが）とても楽しい。わが国でも西洋音楽文化が根付いていることを実感した。

武蔵小金井駅南口再開発／市民広場

宮地楽器ホール／小金井市民オーケストラ演奏会

５■今回特に印象に残った場所、こと、ものなど

東京 150 年特別展★近現代建築史を学べる貴重な企画展だと思う。

東京 150 年特別展★江戸東京博物館の展示が都市に主眼があるのに対し、こちらは建築・住宅に重きがあり、それぞれ充実した内容になっていた。小規模ながら非常に密度濃く内容深い展示。

前川國男邸★シンプルで明快なデザインがとても良い。

前川國男邸★中に入ると空間スケールや心地よさを実感できる。前川建築の原点を確認できる貴重な施設。

八王子千人同心★甲斐武田の同心衆が武田の滅亡後、徳川の配下となっての役割の歴史を初めて知りました。日光街道にもゆかりがあり親近感を持てました。

たてもの園の路地★町は表通りと路地からなり、生活感ある路地の風景を再現しているのは貴重。

たてもの園の運営★単に建物を移築保存するだけでなく、内部を様々に活用している点がすばらしい。

小金井南口再開発の市民広場★建物に囲まれた歩行者広場がとても心地よい。

小金井市民オーケストラ★友人知人がステージに登場しているのを見るのは面白いですね！　彼の別の面を知るとともに、オーケストラというものが身近な存在に思えました。

６■その他、今回の企画に対する感想など（自由記入）

●江戸東京たてもの園の前回の企画に参加できなかったので、今回はとても良い機会になりました。江戸東京たてもの園は埼玉からも近いので、また、近代建築史を学びに訪れたいと思います。大竹さん、企画とご案内ありがとうございました。クラッシク音楽に不案内の私ですが、志岐さん参加の小金井市民オーケストラも楽しむことができました。重ねて感謝です。(H/M)

●12月29日、横浜大桟橋に行きました。大桟橋の実物は初めてで驚き。デッキの印象しかなかったので、客船ターミナル 、税関、さらにイベントホールまである！　空や雲が見え自然光の入るホールは素敵です。全く外の光が入らないホールで日中の何時間か過ごして外に出ると、何だか少しだけ損をした気になるのですが。ここは違いました。毎年、大晦日にはＥテレで第９を聴くのですが、一足早く、でした。40年も前、雑誌片手に何度も横浜を、飽きもせず歩いたことを思い出します。県庁も改修工事中、再開発も進行中ですが、今も横浜は面白いです。それでは、どうぞよいお年を。(S/M)

コーディネイターより●今回は、今年９月の江戸東京博物館／東京150年展企画の続編ですが、実は昨年８月の江戸東京たてもの園（コルビュジェと前川國男展）＋小金井のまちづくり企画のリバイバルでもあります。昨年は前川國男展を企画した志岐祐一（建築家）さんのご案内でしたが、その志岐さんが今年のたてもの園の特別展「東京150年～都市とたてもの、ひと～」にも携わっています。さらに、志岐さんは中学以来の小金井市民オーケストラのメンバー（トランペット奏者）で、当日午後の宮地楽器ホールでのコンサートにも出演されました。今回はそういうわけで演奏準備に忙しい志岐さんにご案内はお願いできませんでしたが、コンサートの招待券をご提供いただきました。素晴らしい展示と心地よい演奏を体験することができ、本当にありがとうございます。(O/R)